鏑木清方文集

一

制作餘談

白凰社

鏑木清方文集　一　制作餘談

昭和五十四年八月十五日第一刷發行

著　者　鏑木清方

編　者　山田肇

發行者　高橋謙

發行所　株式會社白凰社
東京都千代田區神田神保町一―二〇
郵便番號　一〇一
電話番號　東京(〇三)二九一―七五七一
振替口座　東京八―九二二四一

印刷・製本　凸版印刷株式會社

定　價　四、三〇〇圓

コード番號　〇三七〇―二一〇一―六九〇六

落丁・亂丁本はお取り替へいたします。

鏑木清方文集　一

制作餘談

此为试读,需要完整PDF请访问: www.ertongbook.com

目次

Ⅰ

私の經歷……一三
年賀の端書に就て……二一
私の生活……二四
畫家のユートピヤ……三三

Ⅱ

秋窓冗語……三九

人事素描……四五
綠蔭繪事を語る……五〇
我が好む畫人……六五
職業の殼……六八
精神生活の缺乏……七四
そぞろごと……八一
紫陽花舍閑話……九〇
插畫家の暮らし……一〇〇
插繪閑話……一〇三
花鳥のはなし……一〇七
昔の人……一一三
三つのすがた……一一六
そぞろごと……一一九
連翹……一二二
肖像畫……一二七

凡人凡語……一三一

Ⅲ

日記抄……一三九
畫室の反抗――あの頃のこと――……一四七
市人の暮らし……一五五

Ⅳ

自作を語る……一六一
美登利の思ひ出……一七三
『曲亭馬琴』の思ひ出……一七六
出世作……一八〇
『黒髪』……一八五
最も深い興味を以て畫いた作品……一八九
予が最近の試み……一九一

作品のゆくへ ……一九五
M夫人 ……二〇〇
『明石町』對面……二〇三
『明石町』をかいたころ……二〇八
嘗て見た慶喜を ……二一一
素材素描 ……二一四
『一　葉』……二一八
藤懸博士の肖像 ……二二五
寫像後記 ……二四一
小説『にごりえ』を畫にして ……二四五
畫帖『朝顔日記』について ……二四七
鏡花本の裝釘 ……二五一
『朝夕安居』……二五四

V

個展論……二五九
芝居と繪畫……二六五
明治風俗十二ヶ月……二六七
墨水十趣……二七〇
三つのながめ……二七一
作者のことば……二七三
作者のことば……二七四
今様繪詞の會……二七六
ことば……二七七

VI

形と心……二八一
畫房雜稿……二八五

材料の話断片……二九一
技法の話……二九五
あとがき……編者　山田　肇……二九九

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com

圖版目錄

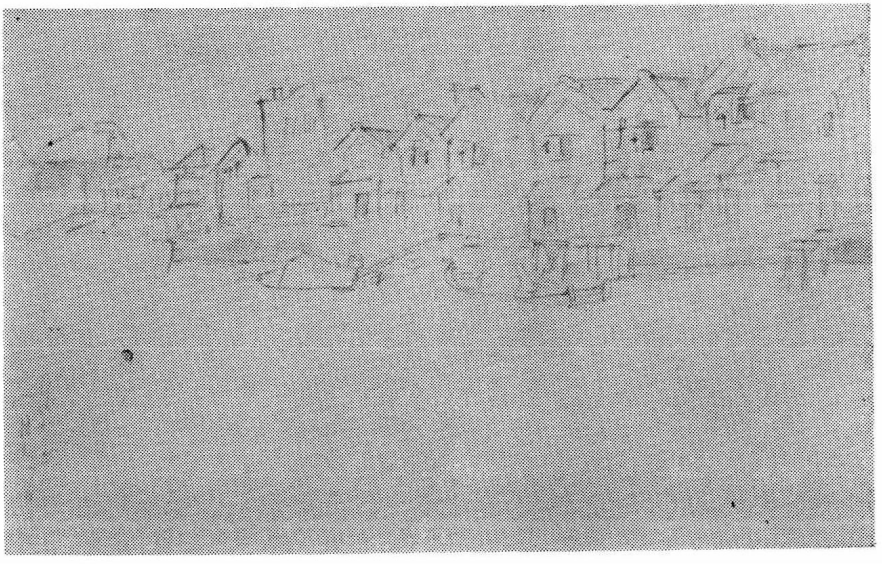
（二重括弧内は作品名）

『晴れゆく村雨』小下繪部分（大正四年）……一六對向
清方の印章……一九
『築地明石町の文』（昭和二年）……四八對向
『崔承喜』（昭和十八年三月）……一二八對向
『十一月の雨』（昭和三十一年）……一四四對向
『たけくらべ』（肉筆廻覽誌「研究畫林」明治二十九年）……一七六對向
『女役者粂八』（昭和二十九年）……二二四對向

中扉繪は小網町河岸寫生連作（大正六年八月）。

寫眞　大澤一夫

I



私の經歷

浮世繪といはれるのが厭で社會畫といふ

私は明治二十四年、十四歳の時に、水野年方の社中に入つた。其の頃の水野社中の研究法は、重に先生の畫かれた新聞の插繪を寫すのであつた。四年ばかり經つて、先生の板下繪に、模様を入れさせられるやうになつたが、折々下手をやつて、板下を無駄にしたのを記憶して居る。

其の頃の風俗畫家は、昔の浮世繪師と同じやうに仕立てられたから、唯頭が散切であるだけで、何の進歩もして居なかつた。美術協會などからは仲間はづれにされて、出品しようとするものもなかつた。漸く日本畫會が創立されてから、初めて絹に畫いて、公開の席に出陳するやうになつた。この時年方は『堀川御所』を畫いた。私達は浮世繪といはれる

のが厭で、社會畫といふ名を付けて自ら慰めて居た。

美術院や烏合會に出品した私の作品

私が展覽會へ出した處女作は、美術院の展覽會の折で、湯島天神に子守が居眠をして居る圖である。

次には白樂天を畫いて、一面の蘆原に、手を組んで居る所を寫した。これを表はすには、痩せた相貌が相應して居るだらうと思ふて、色々苦心したのに、先生から肥つた所謂唐人物風に直されてしまつた。この時は頗る不平であつた。本郷に住んで、加賀樣の長屋で畫いたのである。それと一緒に『霜解』といふ題で畫いた。會場で隣に安田君が眠草と號して、遣唐使の圖を出して居た。靱彦といふのは後の改名である。

私の認められた作は『孤兒院』で、銅牌の賞を與へられ、上村松園女史より一席上になつた。當時信近春城、高橋廣湖の二氏の評判が高く、羨望の的となつて居たが、惜いことに早く死んだ。

池田輝方君はこの時に『婚禮』の圖を、清長風に畫いたが、今いふ江戸趣味などいふことは、知らなかつた。私と輝方君とは木挽町の育ち、私は清長も春信も知らなかつた。當

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com